

# 1 子どもの安全・安心【拡充】

## 第4次基本構想のめざすべき姿等

人とのつながりが感じられ、支えあうことができています。

## 将来像に向けた方向性

区を構成する人々が互いに支えあう社会をつくる必要がある。

事業概要	内容	<p>児童の安全・安心については、登下校時における地域住民（町会）・保護者・シルバー人材センターによる見守り活動、PTA主体によるこども110番の家、通学路の安全点検、青色回転灯パトロールカーによる巡回、学校等における安全教育、不審者情報の発信などにより複層的な対策を講じています。</p> <p>一方で、これまで見守り活動の中心だった地域住民の高齢化や共働き世帯の増加により担い手不足が課題となっています。</p> <p>令和6年度は、新たに区内大学生と連携した見守り事業を実施し、地域社会全体で子どもを見守る体制の構築を図ります。</p>		
		予算現額	決算額	執行率
事業費		5,390,000円	3,784,649円	70.2%
事業実績		<p>○令和6年度実績</p> <p>地域住民の高齢化及び共働き世帯の増加等による、子どもの見守り活動の担い手不足を補うため、区内にキャンパスを有する大学（法政大学、明治大学）の学生18名の協力を得ながら、以下の活動を行いました。</p> <p>(1) 区内大学生への普及啓発</p> <p>協力大学のボランティア団体等に所属している学生へ「ながら見守り」活動※を普及啓発し、通学時における見守り意識の醸成に取り組みました。</p> <p>※「ながら見守り」活動：日常生活を送り「ながら」、防犯の視点を持って子どもたちを「見守る」ことで、登下校時等の安全・安心を確保する取組み</p> <p>(2) 活動啓発物品の作成</p> <p>地域における「ながら見守り」活動の気運を醸成し、犯罪抑止力を高めることを目的に「ながら見守り」活動啓発物品作成検討会を組織し、視覚的に活動をPRできるキーホルダーを作成しました。</p>  	▲千代田区「ながら見守り」活動推進キャラクター みまもるモット	▲作成したキーホルダー
令和8年度実績を踏まえ予算取組への状況課題		<p>見守り活動の担い手不足を補うためには、「ながら見守り」活動を含め、区民・在勤者・在学者等と協力しながら見守り活動を推進する必要があります。</p> <p>令和7年度は、引き続き区内にキャンパスを有する大学へ協力依頼を行い、見守り活動のネットワーク拡大を図るとともに、モデルケースとして区立小学校1校の通学路上等に防犯カメラを設置します。</p> <p>令和8年度は、モデルケースとして設置した防犯カメラの効果検証を踏まえて、登下校時等の安全・安心を確保する取組みを進めるとともに、見守り活動のさらなる推進に向けて、昼間人口の多い本区の特性を活かし、在勤者に対する「ながら見守り」活動の普及啓発にも取り組みます。</p>		

## 2 おがちよ教育交流事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。			
将来像に向けた方向性			
多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。			
事業概要	内容	令和5年8月に、区教育委員会と小笠原村教育委員会は、学校教育に係る連携協力に関する協定を締結しました。	
		令和6年度は、この協定に基づき、募集・選考した区立中学校の生徒を小笠原村に派遣し、お互いの交流を深めつつ、世界自然遺産である小笠原の貴重な自然や戦争の舞台となった小笠原の歴史、独自の伝統文化等を学習・体験することで、豊かな人間性や平和・文化を尊重する態度の育成を図ります。	
事業費	予算現額		決算額
	8,300,000円		77.9%
事業実績	○令和6年度実績 (1) 派遣生徒の決定 書類審査及び面接審査を経て、応募総数69名から派遣生徒15名を決定しました。		
	(2) 事業スケジュール ①事前学習会（令和6年6月5日、6月29日、7月19日） 小笠原諸島における独自の文化、生態系等について学び、理解・興味を深めました。 ②小笠原諸島における現地行程（5泊6日） 令和6年7月23日 出港式、竹芝ターミナルから父島へ移動（船内泊） 令和6年7月24日 自然・歴史・文化学習（世界遺産センター、ビジターセンター）、ナイトツアー <sup>③</sup> 令和6年7月25日 海洋体験（南島、兄島海域公園にてシュノーケリング等） 令和6年7月26日 3班に分かれて、フィールドワーク学習（平和学習班、自然・環境学習班、歴史・文化・生活学習班）、ビーチクリーニング 令和6年7月27日 海洋環境学習（小笠原海洋センター） 令和6年7月28日 父島～竹芝ターミナルへ移動（船内泊）、解散式 ③事後学習会（令和6年7月31日、8月21日） 学習・体験したことの振り返り及び教育委員会報告会準備を行いました。 ④教育委員会報告会（令和6年9月10日） 教育委員会、保護者及び関係機関等に向けて、事業にて学んだことをフィールドワーク班別に発表しました。		
令和8年度までの予算取組の状況課題	派遣生徒の定員15名に対し、69名の応募申込がありました。このことから希望者の約8割が参加できていない状況であり、派遣先の受入体制を考慮しながら、派遣生徒の適正な人数について検討する必要があります。また、現地中学生との交流機会が設けられなかったことから、交流の充実を図るために、現地訪問日程の再検討が必要です。 令和7年度は、検討課題を踏まえて、派遣生徒の定員を3名増の18名に変更するとともに、小笠原村の中学生との交流機会を確保するため、訪問日程を約1か月後ろ倒しました。また、6月には、小笠原村の中学生が麹町中学校及び神田一橋中学校を訪れ、授業や給食を共にすることで、交流を図りました。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、生徒の意見を丁寧にヒアリングしながら必要な見直しを行い、より効果的な事業の実施を通じて、豊かな人間性や平和・文化を尊重する態度の育成を図ります。		

### 3 教育ローン利子補給金【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等										
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。										
将来像に向けた方向性										
のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。										
事業概要	内容	全ての子どもが平等に教育を受けられるよう、個々の家庭環境等に関わらず子どもが望む教育を受けられるように支援していく必要があります。 令和6年度は、入学・在学費用等の教育資金の貸し付けを受けた保護者に対し、借入金の返済利子を補給することで、子どもの学びの機会を保障します。								
事業費	予算現額 24,920,000円	決算額 2,281,683円	執行率 9.2%							
事業実績	<p>○令和6年度実績            (1) 利子補給金の支給実績            子どもの教育資金に係る融資を受けた保護者等に対し、利子補給金を交付することで、経済的負担を軽減し、もって子どもが個々の家庭環境等に左右されずに望む教育が受けられ、学びの機会を保障することを目的に令和7年1月から、あっせん融資、非あっせん融資の申請受付を開始しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>あっせん融資制度方式</th><th>非あっせん融資制度方式</th></tr> <tr> <th>申請件数</th><th>利子補給件数／金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23件</td><td>24件／792,283円</td></tr> </tbody> </table> <p>※あっせん融資制度方式は、1月～12月に支払った利子を補給する制度のため令和6年度は申請の受付のみとなっています。</p> <p>(2) 事業周知            本事業をより多くの保護者等へ普及啓発するために、PRキャラクターを作成し、ポスター・ノベルティの作成・配布を行いました。</p> <p>※業務委託を実施せずに職員対応したこと及び申請件数が想定を下回ったことにより、執行率が低くなりました。</p>				あっせん融資制度方式	非あっせん融資制度方式	申請件数	利子補給件数／金額	23件	24件／792,283円
あっせん融資制度方式	非あっせん融資制度方式									
申請件数	利子補給件数／金額									
23件	24件／792,283円									
令和8年度までの実績と課題	<p>あっせん融資制度については、区から決定通知を交付したものの融資実行に至らないケースが見受けられることから、本事業対象者の実態をより丁寧に把握する必要があります。また、非あっせん融資制度については、当初想定していた件数を下回る補給金実績となっているため、事業の認知度向上を図る必要があります。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き、ポスター・ノベルティを活用し、事業周知を行うとともに、より支援を必要とする方に寄り添った事業としていくため、融資実行に至らなかった方等へのアンケート調査等を実施します。</p> <p>令和8年度は、支給実績やアンケート調査等の結果をあらゆる角度から分析し、より対象者のニーズに応じた事業内容やスキームの構築に取り組みます。</p>									
所管課 子ども部 子ども総務課		決算参考書	136頁	R6予算の概要						
				83頁						

## 4 教材費一部補助【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等																			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。																			
将来像に向けた方向性																			
のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。																			
事業概要	内容	個々の家庭環境等に関わらず、子どもに必要な力を育むため、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けた効果的な取組みを展開し、公教育の質を高めていく必要があります。 令和6年度は、区立小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）の児童・生徒の教材費について一部補助することで、子どもたちの教育環境の充実を図っていきます。																	
事業費	予算現額	決算額	執行率																
	52,511,000円	24,113,500円	45.9%																
事業実績	<p>○令和6年度実績 児童・生徒の保護者が負担する教材費の一部（半額程度）を補助することで質の高い教育を受けられるよう支援を行いました。</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>対象者数※</th><th>補助額</th><th>1人あたり平均補助額</th></tr></thead><tbody><tr><td>小学校</td><td>3,275人</td><td>14,531,500円</td><td>4,437円</td></tr><tr><td>中学校</td><td>652人</td><td>3,966,900円</td><td>6,084円</td></tr><tr><td>中等教育学校（前期課程）</td><td>474人</td><td>5,615,100円</td><td>11,846円</td></tr></tbody></table> <p>※対象者数は令和6年5月1日時点の人数です。</p> <p>※補助対象となる教材の精査により、執行率が低くなりました。</p>				対象者数※	補助額	1人あたり平均補助額	小学校	3,275人	14,531,500円	4,437円	中学校	652人	3,966,900円	6,084円	中等教育学校（前期課程）	474人	5,615,100円	11,846円
	対象者数※	補助額	1人あたり平均補助額																
小学校	3,275人	14,531,500円	4,437円																
中学校	652人	3,966,900円	6,084円																
中等教育学校（前期課程）	474人	5,615,100円	11,846円																
令和8年度までの実績と予算取組評価の状況課題	<p>全ての子どもが十分な教育を受けられる環境を整備することで、公教育の充実を図る必要があります。</p> <p>令和7年度は、児童・生徒により質の高い教育環境を提供するため、教材費の補助を全額に拡充しています。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、対象となる教材費の全額補助を行い、学校での教育環境のさらなる充実を図っていきます。</p>																		

## 5 和泉小学校・いずみこども園等施設整備

第4次基本構想のめざすべき姿等		
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。		
将来像に向けた方向性		
のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。		
事業概要	内容	和泉小学校・いずみこども園等施設は昭和62年の竣工から築37年が経過し、設備などの老朽化が進んでいることに加え、各階で利用者動線の混在などの課題を抱えていることから、建替えに向け検討を進めています。 令和6年度は、隣接する和泉公園との一体的な整備に向けて、和泉公園の都市計画決定（変更）等、必要な手続きを進めています。
事業費	予算現額 13,515,000円	決算額 13,275,000円
事業実績	<p>○令和6年度実績</p> <p>(1) 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会の開催（令和6年11月21日、令和7年3月27日） 施設関係者・地域関係者・学識経験者等を委員とする検討会を開催し、これまでの施設整備の考え方や公園からの視点を加え、公園も含めた全体の機能が向上するよう新たな施設・公園の配置形態等の検討を進めました。</p> <p>(2) 周辺の町会等への個別ヒアリングの実施（令和6年12月～令和7年2月） 施設・公園の利用状況や課題、整備への期待について、ヒアリングを実施しました。</p> <p>(3) オープンハウス型地域説明会の開催（令和7年2月7日、8日） 検討状況を説明するとともに、整備の方向性について、広く意見を集めました。</p> <p>(4) 小学校児童へのアンケート調査の実施（令和7年2月） 公園整備への期待について、アンケート調査を実施しました。</p>	
令和7年度実績 和を踏まえ予算取組の状況課題 87年度までの対応	<p>検討を通じて移転建替えを進めていく方針は確認できましたが、公園との一体的整備に向けては、セキュリティを確保した施設・校庭・公園の配置等、引き続き検討が必要です。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き検討を進め、和泉公園との一体的整備構想として取りまとめた後に、和泉公園の都市計画決定（変更）と施設・公園の基本計画の策定に取り組みます。また、施設整備を踏まえた旧和泉町ポンプ所跡地の効果的な活用策について検討し、基本計画等へ反映します。</p> <p>令和8年度は、令和7年度の検討結果を踏まえて基本計画を策定した後、新たな施設・公園の基本設計に向けて取り組みます。</p>	
所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書	138頁 R6予算の概要 84頁

## 6 旧和泉町ポンプ所跡地の活用検討

第4次基本構想のめざすべき姿等			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。			
将来像に向けた方向性			
のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。			
事業概要	内容	東京都から購入した旧和泉町ポンプ所跡地（神田和泉町1番地28（地番））について、子育て支援施設等を中心とした新たな施設を整備する予定です。令和6年度は、和泉小学校・いずみこども園等施設整備における機能の精査と併せて、地域の意向も確認しながら、幅広く活用内容を調査・検討します。	
事業費	予算現額		決算額
	5,919,000円		93.8%
事業実績	○令和6年度実績 「和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会（令和6年11月21日、令和7年3月27日）」、「周辺の町会等への個別ヒアリング（令和6年12月～令和7年2月）」及び「オープンハウス型地域説明会（令和7年2月7日、8日）」を通じて地域の意向を確認するとともに、同施設整備期間中の公園機能の代替としての活用等を含めて検討を行いました。		
令和8年度予算へ組み込まれた実績を踏まえた評価の状況課題	旧和泉町ポンプ所跡地については、和泉小学校・いずみこども園等施設整備の動向及び地域の意向を踏まえながら活用内容を検討していく必要があります。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、和泉小学校・いずみこども園等施設整備を踏まえた効果的な活用策を検討していくため、同施設整備の事業に本事業を統合しました。		

## 7番町小学校・幼稚園整備計画の基礎調査

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

事業概要	内容	築50年以上が経過している番町小学校・幼稚園については、老朽化が進んだ校園舎の機能更新にあたり、良好な教育環境の確保に加え、防災拠点や地域コミュニティの核としての役割も踏まえ、効果的かつ効率的に整備を進める必要があります。 令和6年度は、令和5年度の基礎調査を踏まえ、施設整備に伴う影響や条件の整理を行うとともに、モデルプランの検討等を行います。		
事業費		予算現額	決算額	執行率
		10,400,000円	10,340,000円	99.4%
事業実績	<p>○令和6年度実績 令和5年度に引き続き基礎調査を実施し、今後の整備計画検討の前提となる事項について整理・検討を行いました。</p> <p>(1) 上位計画等の整理 都市計画や学校施設に関する国の指針等について研究・整理しました。</p> <p>(2) 既存施設の課題と改築等の方向性の整理 施設の老朽化、多様なニーズへの対応、将来を踏まえた可変性といった課題に対する改築・改修の方向性について整理しました。また、番町小学校・幼稚園の改築等の沿革について確認しました。</p> <p>(3) モデルプランの検討 人口推計等を踏まえて必要な施設の規模を整理し、施設の配置等について検討しました。</p>			
令和8年度までの予算取扱いの実績を踏まえた組合評価の状況・課題	<p>番町小学校・幼稚園の整備にあたっては、条件等の整理はもちろんのこと、関係者の調整が必要となります。</p> <p>令和7年度は、これまでの基礎調査を踏まえ、学校・園関係者等との意見交換を行い、整備に向けた検討を行います。</p> <p>令和8年度は、令和7年度の検討を踏まえ、基本構想の策定に向けて取り組みます。</p>			

所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書	138頁	R6予算の概要	85頁
-----------------	-------	------	---------	-----

## 8 国際教育の推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等				
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。				
将来像に向けた方向性				
多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。				
事業概要	内容	国際的な視野を広め、国際性豊かな児童・生徒の育成を図り、広く国際教育を推進するため、ALT（外国语指導助手）を区立の全校・園に派遣し外国语活動を行っているほか、区立中学校・中等教育学校の生徒を対象に年1回英語検定の検定料の助成を行っています。また、区立小学校6年生・中学校2年生全員を対象に、体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」のプログラムに参加し、体験活動を通して実践的な英語を学んでいます。 令和6年度は、新型コロナウイルス感染拡大により休止していた区立中学校の2年生を対象とした英国ウエストミンスター市との海外派遣・受け入れ事業を廃止し、「TOKYO GLOBAL GATEWAY」での体験学習を全学年に拡充することで、国際教育の機会の確保・充実を図ります。		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	54,163,000円	41,697,850円	77.0%	
事業実績	<p>○令和6年度実績</p> <p>(1) ALT派遣 各校・園への派遣を通じ、子どもの発達段階に応じた英語に親しむ機会の創出、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の醸成につなげました。</p> <p>(2) 英検資格取得支援 区立中学校・中等教育学校（前期課程）の生徒のうち、英語検定の受験希望者全員に対し、全ての級を対象として、年1回検定料全額を補助しました。 補助件数 1,081件（うち準1級44件、1級11件）</p> <p>(3) 体験型英語学習 区立小学校6年生及び区立中学校全学年生徒が体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」でのプログラムに参加し、様々な体験活動を通して実践的な英語を学びました。</p>			
令和8年度までの実績と予算取扱いの状況課題	<p>子どもの英語に対する興味・関心を高めていくことが課題であることから、体験活動を通じて英語に触れる機会を増やし、目的意識をもって主体的に英語によるコミュニケーションを図る機会を充実させる必要があります。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き、「TOKYO GLOBAL GATEWAY」での体験型英語学習を実施していくほか、英検資格取得支援についても継続して取り組みます。また、九段小学校を「国際教育推進校」に指定してALTの拡充配置を行い、日常的に英語によるコミュニケーションの機会を創出していく、国際教育のさらなる推進を図るための効果検証を行います。さらに、学識経験者等を委員とした「千代田区英語教育推進会議」を開催し、今後の英語教育の方向性についての検討を進めます。</p> <p>令和8年度は、英語教育推進会議からの提言を踏まえ、外国语教育の充実及び教員の質の向上に取り組みます。また、区内大使館等との連携等、体験活動をはじめとする交流を一層充実させることで国際性豊かな子どもの育成を図るための国際教育を推進していきます。</p>			
所管課 子ども部 指導課	決算参考書	138頁	R6予算の概要 85頁	

## 9部活動の推進【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。

事業概要	内容	区は、国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」を踏まえ、令和5年度に部活動の一部について、外部委託による指導を平日も含めて試行的に実施しています。 令和6年度は、令和5年度の試行実施を継続するとともに、学校の意向を確認しながら外部委託を行う部活動を拡大することで、指導の質の向上や教員の働き方改革を図っていきます。		

事業費	予算現額	決算額	執行率
	70,623,000円	64,241,805円	91.0%

事業実績	○令和6年度実績 既存の枠組みである地域人材を中心とした部活動指導員、外部指導者の活用、教員による指導に加えて、部活動の外部委託による指導を行いました。		
	部活動の外部委託	麹町中学校 10部活動 (ダンス、卓球、陸上、バレー、バドミントン、バスケットボール、華道、茶道、家庭科、水泳)	神田一橋中学校 12部活動 (家庭科、フットサル、バドミントン、硬式テニス、和太鼓、水泳、吹奏楽、陸上、茶道、競技かるた、美術、バスケットボール)
	外部指導者の活用	4部活動 (バドミントン、吹奏楽、麹中ファーム、フトグラフサークル)	3部活動 (サッカー、吹奏楽、卓球) 6部活動 (水泳、サッカー(前期課程)、吹奏楽、茶道、合唱、ダンス)

令和7年度予算組成評議会の状況課題	指導者を継続的に確保できる部活動においては地域人材を活用し、難しい部活動においては外部委託を行い、ハイブリッド的に部活動の地域移行を進めることで、平日も含めた部活動の実施・指導体制の充実、教員の働き方改革を実現していく必要があります。		
	令和7年度は、国の定める改革推進期間の最終年度になることから、学校の意向を踏まえた外部委託による部活動をさらに拡大するとともに、外部指導者及び部活動指導員を適切に配置し、専門的な技術指導を行うことで、部活動の指導の質の向上及び教員の業務軽減・働き方改革を推進します。		
	令和8年度は、改革実行期間の初年度として、生徒、保護者、教職員等のニーズに一層的確に対応できるよう、部活動のさらなる推進を図ります。		

所管課 子ども部 指導課、九段中等教育学校経営企画室	決算参考書	140頁	R6予算の概要	86頁
----------------------------	-------	------	---------	-----

## 10 特別支援学級通学支援【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等																			
お互いに支えあい、誰ひとり取り残されがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができます。																			
将来像に向けた方向性																			
多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。																			
事業概要	内容	知的障害特別支援学級に在籍する児童の通学に際し、児童と保護者の負担軽減を図るため、添乗員が同乗する車両を運行して、登校時は自宅から学校まで、下校時は学校から自宅等下校先までの通学支援を行っています。 令和6年度は、区立小学校に加えて、区立中学校の知的障害特別支援学級在籍生徒の自宅等と学校間についても添乗員が同乗する車両を運行することで、児童・生徒及び保護者のさらなる負担軽減を図ります。																	
事業費	予算現額	決算額	執行率																
	97,099,000円	64,381,200円	66.3%																
事業実績	<p>○令和6年度実績 区立小学校に加えて、区立中学校の知的障害特別支援学級在籍生徒の自宅等と学校間について添乗員が同乗する車両を運行しました。また、下校時の通学支援では、自宅のみならず療育機関等への送迎も実施しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th><th>対象者数</th><th>利用登録者数</th><th>利用登録者数 登下校内訳</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富士見小学校</td><td>8人</td><td>7人</td><td>登校 4人 下校 5人</td></tr> <tr> <td>千代田小学校</td><td>18人</td><td>13人</td><td>登校 12人 下校 12人</td></tr> <tr> <td>麹町中学校</td><td>6人</td><td>1人</td><td>登校 1人 下校 1人</td></tr> </tbody> </table>			対象校	対象者数	利用登録者数	利用登録者数 登下校内訳	富士見小学校	8人	7人	登校 4人 下校 5人	千代田小学校	18人	13人	登校 12人 下校 12人	麹町中学校	6人	1人	登校 1人 下校 1人
対象校	対象者数	利用登録者数	利用登録者数 登下校内訳																
富士見小学校	8人	7人	登校 4人 下校 5人																
千代田小学校	18人	13人	登校 12人 下校 12人																
麹町中学校	6人	1人	登校 1人 下校 1人																
令和8年度予算へ取組みの状況課題	<p>知的障害特別支援学級を設置する小学校2校及び中学校1校について、保護者及び児童・生徒へ適切に事業周知を行い、希望者への登下校通学支援を滞りなく実施することができました。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、児童・生徒及び保護者にとってより利用しやすくなるよう、ニーズに応じた支援を行います。また、行動観察や就学相談により対象児童数の把握を行い、人数に応じて人員を配置します。</p>																		
所管課 子ども部 指導課		決算参考書	140頁 R6予算の概要 89頁																

## 11 いじめ・不登校防止プロジェクト【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
お互いに支えあい、誰ひとり取り残されがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができます。			
将来像に向けた方向性			
多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。			
事業概要	内容	区は、いじめ・不登校の未然防止や早期発見、早期対応に向けた取組みを進めるとともに、スクールソーシャルワーカーの派遣等による児童・生徒の支援を行っています。 令和6年度は、神田さくら館から民間ビルに移転した適応指導教室（はくちょう教室）の受け入れ体制を拡充するとともに、学校内の落ち着いた空間で学習・生活できる校内教育支援センターの設置や、仮想空間を活用した居場所・学びの場としてバーチャル・ラーニング・プラットフォームを提供するなど、不登校児童・生徒のための環境整備を進めます。 また、多様な価値観の中で不登校となっている児童・生徒がいることを踏まえ、フリースクール等学校に登校すること以外の選択肢を検討するため、フリースクール等の民間施設と区の連携に向けたフリースクール連絡会を実施します。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	10,288,000円	7,765,937円	75.5%
事業実績	<p>○令和6年度実績</p> <p>(1) 校内教育支援センター（SSR（スペシャルサポートルーム））の設置 クラスに入りづらい児童・生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる教室を全校に設置しました。</p> <p>(2) はくちょう教室の機能拡充 教育研究所から場所を移転し、小・中学生の校種別の部屋、個別学習室、フリー スペースと部屋を増やしたことにより、発達の段階や個に応じた指導・支援をよりきめ細やかに行うことができました。</p> <p>(3) バーチャル・ラーニング・プラットフォームの提供 児童・生徒がPCやタブレットなどを通じてアバターを操作することで、バーチャル空間内でコミュニケーションを行いました。また、自学自習のWeb教材やプログラミング教材など様々な学習コンテンツを有しており、自身の学習状況に応じたコンテンツを利用しました。</p> <p>(4) フリースクール等民間施設との連絡会の実施（3回） 千代田区の不登校関係施策や、民間施設と学校との連携に関する情報交換、意見交換等を行いました。また、各民間施設の活動状況や通室児童・生徒の様子、保護者の要望等について情報共有を行いました。</p>		
令和8年度実績を踏まえ予算取扱の状況課題	<p>本区における不登校児童・生徒数は、事業の着実な実施に伴い減少している一方で、全国的には増加傾向にあるため、引き続き子どもの心理的変化や不登校の理由ともなりうる小さいじめを見逃さないといったきめ細やかな支援が必要です。</p> <p>令和7年度は、SSRを利用する児童・生徒にとって居心地のよい場所となるよう各校のSSRの環境づくりを進めます。また、モデル校の富士見小学校において一般的な教室の雰囲気とは違う落ち着いた教室環境の実現をめざし、利用する児童・生徒に、より適した環境を整備することで、環境整備方針や個に応じた支援について検証とともに区内学校に取組みの周知を図っていきます。</p> <p>令和8年度は、令和7年度の検討結果を踏まえ、児童・生徒へのさらなる支援を進めています。</p>		
所管課 子ども部 指導課		決算参考書	140頁 R6予算の概要 89頁

## 12 学校給食関連事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等																						
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。																						
将来像に向けた方向性																						
事業概要	内容	のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。																				
		区立小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）において実施している学校給食は、学校給食法に基づき児童・生徒の健康の増進及び食育を推進するため栄養バランスのとれた多様な食事を提供しており、学校給食を活用して、生きるための力、食文化など食に関する指導の充実を図っています。 令和6年度は、区立学校の給食費の全額を補助するとともに、これまでと同様、栄養バランスに配慮した質の高い給食を提供することで、子どもたちの教育環境の充実を図っていきます。																				
事業費	予算現額		決算額																			
	(1) 学校給食（小学校）		469,934,000円																			
	(2) 学校給食（中学校）		124,293,000円																			
	(3) 学校給食（中等教育学校）		59,154,000円																			
事業実績	○令和6年度実績																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者数※</th> <th colspan="2">1人1食あたり補助額</th> </tr> <tr> <th>4月～10月</th> <th>11月～3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低学年</td> <td>295円</td> <td>340円</td> </tr> <tr> <td>小学校 中学年</td> <td>320円</td> <td>370円</td> </tr> <tr> <td>高学年</td> <td>345円</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>657人</td> <td>390円</td> </tr> <tr> <td>中等教育学校（前期課程）</td> <td>474人</td> <td>460円</td> </tr> </tbody> </table>			対象者数※	1人1食あたり補助額		4月～10月	11月～3月	低学年	295円	340円	小学校 中学年	320円	370円	高学年	345円	400円	中学校	657人	390円	中等教育学校（前期課程）	474人
対象者数※	1人1食あたり補助額																					
	4月～10月	11月～3月																				
低学年	295円	340円																				
小学校 中学年	320円	370円																				
高学年	345円	400円																				
中学校	657人	390円																				
中等教育学校（前期課程）	474人	460円																				
※対象者数は令和6年5月1日時点の人数です。																						
令和8年度実績 令和7年度予算へ組替の状況課題	これまでと同様に栄養バランスや量を保った質の高い学校給食の提供を継続することで、子どもたちの健康の増進や健やかな成長を支えるなどの教育環境の充実を図ることが重要です。そのためには、食材費高騰に対応した適切な給食費の設定を行う必要があります。																					
	令和8年度は、令和7年度に引き続き、質の高い安定的な給食の供給に努めるとともに、学校給食費の全額補助を継続していきます。また、国や東京都に対して地域格差が生じないよう、全国的な学校給食費の無償化に向けた法改正や全額補助を要求していきます。																					
所管課 子ども部 学務課		決算参考書 142、144頁	R6予算の概要 86頁																			

## 13 ICT学校教育システムの推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。			
将来像に向けた方向性			
多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。			
事業概要	内容	<p>区は、新たな時代を生き抜く人材の育成に向け、教育施設へのICT環境の整備に努め、教育活動で活用するほか、校務にも活用して教職員の働き方改革を進めています。</p> <p>令和6年度は、文部科学省選定の生成AIパイロット校に指定された九段中等教育学校において、区立校のモデルとして、生成AIの活用により生徒の調べものに係る時間を短縮し、対話等の時間を増やすことで、主体的・対話的で深い学びの実現を図るとともに、教職員の事務の省力化を図ることで働き方改革につなげます。</p> <p>また、次世代校務システムの導入により、多様なデータの活用・分析を進めることで、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導の充実や支援を要する生徒の早期発見・支援、職員の働き方改革につなげるとともに、システムのクラウド化により、大規模災害等の緊急事態への対応力を高めます。</p>	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	331,796,000円	307,146,517円	92.6%
事業実績	<p>○令和6年度実績</p> <p>(1) 生成AIの活用</p> <p>独自生成AIを開発し、文章校正などで活用することにより校務の効率化を図ったほか、授業内で生成AIとの対話を取り入れ、生徒の学びを深めるなど、校務・教育の場で生成AIの活用を開始しました。</p> <p>(2) 次世代校務システムの導入</p> <p>ゼロトラストセキュリティの概念を組み入れたクラウド型校務支援システムを導入することで、安全性の向上や校内の自由な場所から校務システムにアクセスできる環境を整備しました。</p> <p>(3) デジタルを活用した探究活動の推進</p> <p>文部科学省の「リーディングDXスクール事業（生成AIパイロット校）」及び「高等学校DX加速化推進事業」に採択され、生成AIの利活用に関する事例の創出・普及、高性能PCや3Dプリンター等の探究実習用機器を導入することでデジタルを活用した探究活動を推進しました。</p>		
令和7年度予算へ組込まれた状況課題	<p>独自生成AIや次世代校務システムの教育現場での活用により、生徒の個別最適な学びの実現や教職員の働き方改革の推進を加速していくことが必要です。</p> <p>令和7年度は、ネットワーク環境を改善するとともに、区立校のモデルとして、デジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図るための環境整備及び探究を軸とした数理・データサイエンス・AIなどを含むプログラムを実施します。さらに、区立小・中学生対象の体験講座を実施するなど、区立学校への取組みの展開を図ります。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、生成AIの利活用事例創出・普及、文理横断的な探究活動を推進します。</p>		

## 14 入学者選考【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長していきます。

### 将来像に向けた方向性

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。

事業概要	内容	九段中等教育学校の入学者選考においては、紙書類により受付を行っており、出願者は書類の記入や学校への提出、金融機関窓口での納入手続き等を行う必要があります。 令和6年度は、インターネット出願システムの導入により、令和7年度入学者選考から出願や合否照会、説明会等のイベント予約などの各種手続き等をオンラインで行うことができるようになりますことで、志願者の利便性向上を図ります。		

事業費	予算現額	決算額	執行率
	11,694,000円	7,605,854円	65.0%

事業実績	○令和6年度実績 令和7年度入学者選考から出願手続きをインターネットにより実施し、出願から合格発表までをオンラインで実施することができるシステムを導入しました。また、同システムを利用して11月からの学校説明会や一般参加を受け付けている校内イベントについてもオンラインによる受付を開始しました。 (1) 学校説明会（出願に関わる相談会） イベント予約システムによる申込														
	申込状況	423組（980名）	（内訳）3～5年生：110組、6年生：313組												
	参加状況	337組（613名）	（内訳）3～5年生：82組、6年生：255組												
(2) 出願手続き（最終応募状況）															
出願期間：令和6年12月19日～令和7年1月15日															
インターネット出願システムによる申し込み															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分A（区民）</th> <th>区分B（都民）</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>80名</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td>申込人数</td> <td>222名</td> <td>312名</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>534名</td> </tr> </tbody> </table>		区分A（区民）	区分B（都民）	計	定員	80名	160名	申込人数	222名	312名			534名		
区分A（区民）	区分B（都民）	計													
定員	80名	160名													
申込人数	222名	312名													
		534名													

令和8年度までの予算取組みの状況課題	インターネット出願システムの導入により、入学検定料の納入が24時間いつでもどこでも支払い可能となるなど志願者（保護者）の利便性向上につながりました。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、入学者選考から出願や合否照会、説明会等のイベント予約などの各種手続き等をオンラインでできる仕組みを継続していきます。		

所管課 子ども部 九段中等教育学校経営企画室	決算参考書	144頁 R6予算の概要	87頁
------------------------	-------	--------------	-----

## 15 幼稚園給食【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。			
将来像に向けた方向性			
のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。			
事業概要	内容	区は、園児が食べる喜びや楽しさ、食べ物への興味や関心を通じて自ら進んで食べようとする気持ちが育つように食育を推進しています。 区立幼稚園に通う園児の健康の増進と食育の推進を図るとともに、保護者の負担を軽減するため、令和7年4月からお茶の水幼稚園において給食提供を開始することとしました。そのため、令和6年度は給食室用備品の設置など給食開始に向けた整備を実施します。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	59,080,000円	55,145,681円	93.3%
事業実績	○令和6年度実績 お茶の水幼稚園における令和7年4月給食提供開始に向けた整備 (1) 給食室用備品（冷凍冷蔵庫等）の設置（令和7年3月） (2) 給食消耗品（食器、調理器具等）の購入（令和7年3月）		
	 <p>▲給食提供イメージ</p>		
令和8年度予算へ組み込まれた実績を踏まえ、令和7年度の実績を評価する状況課題	お茶の水幼稚園での令和7年4月からの給食提供開始に向けた整備を行いました。一方で給食提供未実施の麹町幼稚園、九段幼稚園、番町幼稚園の3園については、弁当給食を提供するとともに、引き続き全ての園での給食提供に向けた検討を進める必要があります。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、お茶の水幼稚園で給食提供を継続するとともに、上記3園についての給食提供が可能となるまでの間は弁当給食を提供することで、全ての園において園児の食育推進、保護者の負担軽減を図ります。		

## 16 子どもの遊び場確保の取組み【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等																																																					
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。																																																					
将来像に向けた方向性																																																					
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。																																																					
事業概要	内容	子どもの成長過程においては、外遊びが必要かつ重要です。区は、区が有する様々な資源を子どもの遊び場としても活用できるよう積極的に取り組んでいます。また、区立公園等においては運用方法を工夫するなど、子どもが自由に外で遊ぶことができる環境づくりに努めています。令和6年度は、新たな遊び場の確保や実施日時の拡大を図るなど、子どもの外遊び環境のさらなる充実に取り組んでいきます。																																																			
事業費	予算現額		決算額		執行率																																																
	87,008,000円		79,590,260円		91.5%																																																
事業実績	<p>○令和6年度実績</p> <p>(1) 新規遊び場の確保</p> <table border="1"> <tr> <td>実施場所</td><td>神田児童公園</td></tr> <tr> <td>実施日時</td><td>毎週火曜14時～16時</td></tr> <tr> <td>開始日</td><td>令和6年10月1日</td></tr> </table> <p>(2) 運営実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th><th>実施回数</th><th>参加人数</th><th>場所</th><th>実施回数</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外濠公園総合グラウンド</td><td>33回</td><td>542人</td><td>芳林公園</td><td>36回</td><td>463人</td></tr> <tr> <td>和泉公園</td><td>78回</td><td>1,368人</td><td>旧永田町小学校</td><td>36回</td><td>588人</td></tr> <tr> <td>東郷元帥記念公園下段部分</td><td>29回</td><td>1,430人</td><td>東京中華学校</td><td>34回</td><td>316人</td></tr> <tr> <td>小川広場フットサルコート</td><td>31回</td><td>520人</td><td>神田児童公園</td><td>22回</td><td>446人</td></tr> <tr> <td>旧今川中学校</td><td>30回</td><td>331人</td><td>ふじみこどもひろば</td><td>116回</td><td>3,107人</td></tr> <tr> <td colspan="3"></td><td>総計</td><td>445回</td><td>9,111人</td></tr> </tbody> </table> <p>※「ふじみこどもひろば」は、10時と16時30分の参加人数を合計して記載しています。</p> <p>※「ふじみこどもひろば」の一部は、保育園の代替園庭としても活用しています。</p>					実施場所	神田児童公園	実施日時	毎週火曜14時～16時	開始日	令和6年10月1日	場所	実施回数	参加人数	場所	実施回数	参加人数	外濠公園総合グラウンド	33回	542人	芳林公園	36回	463人	和泉公園	78回	1,368人	旧永田町小学校	36回	588人	東郷元帥記念公園下段部分	29回	1,430人	東京中華学校	34回	316人	小川広場フットサルコート	31回	520人	神田児童公園	22回	446人	旧今川中学校	30回	331人	ふじみこどもひろば	116回	3,107人				総計	445回	9,111人
実施場所	神田児童公園																																																				
実施日時	毎週火曜14時～16時																																																				
開始日	令和6年10月1日																																																				
場所	実施回数	参加人数	場所	実施回数	参加人数																																																
外濠公園総合グラウンド	33回	542人	芳林公園	36回	463人																																																
和泉公園	78回	1,368人	旧永田町小学校	36回	588人																																																
東郷元帥記念公園下段部分	29回	1,430人	東京中華学校	34回	316人																																																
小川広場フットサルコート	31回	520人	神田児童公園	22回	446人																																																
旧今川中学校	30回	331人	ふじみこどもひろば	116回	3,107人																																																
			総計	445回	9,111人																																																
令和8年度までの実績と予算取組の状況課題	<p>目標としていた小学校の区域ごとの遊び場の設置及び他部署による遊び場類似事業の展開を受け、遊び場の確保は一定の成果が得られましたが、夏に猛暑日が続く異常気象が常態化しつつある中、夏場の遊び場確保に取り組むなど、遊び場のさらなる充実を図る必要があります。</p> <p>令和7年度は、旧九段中学校の校庭・体育館を遊び場として使用できるようにするとともに、夏場でも子どもが安全に遊べるように、一部区立小学校の体育館を開放することで遊び場の充実を図ります。さらに、令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の中での専門家の方々からの意見等を踏まえ、全庁的に遊び場事業のあり方について検討します。</p> <p>令和8年度は、令和7年度の検討内容を踏まえ、多様な子どもたちのニーズに寄り添った遊び場の確保をめざします。</p>																																																				
所管課 子ども部 子育て推進課			決算参考書		148頁 R6予算の概要																																																
					79頁																																																

## 17 私立保育所等への運営補助関連事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等																											
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。																											
将来像に向けた方向性																											
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。																											
事業概要	内容	<p>私立保育所等の安定的な運営を継続していくため、保育事業者に対し、栄養士や看護師など専門職を配置した場合等の人材確保に係る経費や、家賃補助等の運営に係る経費を助成しています。</p> <p>令和6年度は、認可保育所等における地域との子育て関係事業に係る経費等の助成を行い保育の質の向上を図るとともに保育環境を一層整えていきます。</p>																									
事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算現額</th><th>決算額</th><th>執行率</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 私立保育所等運営補助 (認可保育所) 4,094,877,000円</td><td>3,879,932,318円</td><td>94.8%</td></tr> <tr> <td>(2) 私立保育所等運営補助 (認定こども園) 397,046,000円</td><td>396,266,940円</td><td>99.8%</td></tr> <tr> <td>(3) 地域型保育事業運営補助 (小規模保育事業) 49,041,000円</td><td>44,561,397円</td><td>90.9%</td></tr> <tr> <td>(4) 地域型保育事業運営補助 (居宅訪問型保育事業) 80,767,000円</td><td>20,184,200円</td><td>25.0%</td></tr> <tr> <td>(5) 地域型保育事業運営補助 (事業所内保育事業) 115,974,000円</td><td>110,426,522円</td><td>95.2%</td></tr> <tr> <td>(6) 認証保育所等運営補助 1,067,440,000円</td><td>889,028,329円</td><td>83.3%</td></tr> </tbody> </table>			予算現額	決算額	執行率	(1) 私立保育所等運営補助 (認可保育所) 4,094,877,000円	3,879,932,318円	94.8%	(2) 私立保育所等運営補助 (認定こども園) 397,046,000円	396,266,940円	99.8%	(3) 地域型保育事業運営補助 (小規模保育事業) 49,041,000円	44,561,397円	90.9%	(4) 地域型保育事業運営補助 (居宅訪問型保育事業) 80,767,000円	20,184,200円	25.0%	(5) 地域型保育事業運営補助 (事業所内保育事業) 115,974,000円	110,426,522円	95.2%	(6) 認証保育所等運営補助 1,067,440,000円	889,028,329円	83.3%			
予算現額	決算額	執行率																									
(1) 私立保育所等運営補助 (認可保育所) 4,094,877,000円	3,879,932,318円	94.8%																									
(2) 私立保育所等運営補助 (認定こども園) 397,046,000円	396,266,940円	99.8%																									
(3) 地域型保育事業運営補助 (小規模保育事業) 49,041,000円	44,561,397円	90.9%																									
(4) 地域型保育事業運営補助 (居宅訪問型保育事業) 80,767,000円	20,184,200円	25.0%																									
(5) 地域型保育事業運営補助 (事業所内保育事業) 115,974,000円	110,426,522円	95.2%																									
(6) 認証保育所等運営補助 1,067,440,000円	889,028,329円	83.3%																									
事業実績	<p>○令和6年度実績 (1) 運営補助の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>施設数</th><th>定員</th><th>種別</th><th>施設数</th><th>定員</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認可保育所</td><td>18施設</td><td>1,282人</td><td>居宅訪問型保育事業</td><td>4施設</td><td>25人</td></tr> <tr> <td>認定こども園</td><td>1施設</td><td>105人</td><td>事業所内保育事業</td><td>5施設</td><td>92人</td></tr> <tr> <td>小規模保育事業</td><td>1施設</td><td>10人</td><td>認証保育所等</td><td>13施設</td><td>406人</td></tr> </tbody> </table> <p>※定員は、令和7年3月31日時点の数字です。</p> <p>(2) 保育施設の運営に係る補助のほか、以下の補助を実施しました。</p> <p>①地域との子育て関係事業に係る経費補助 補助施設数：4園      ②医療的ケア児等の受け入れに係る準備経費補助 補助施設数：1園      ③I C T化に係る経費補助 補助施設数：2園      ④保育士人材確保に係る経費補助 補助施設数：5園</p> <p>※居宅訪問型保育事業については想定より利用者が少なかったため執行率が低くなりました。</p>			種別	施設数	定員	種別	施設数	定員	認可保育所	18施設	1,282人	居宅訪問型保育事業	4施設	25人	認定こども園	1施設	105人	事業所内保育事業	5施設	92人	小規模保育事業	1施設	10人	認証保育所等	13施設	406人
種別	施設数	定員	種別	施設数	定員																						
認可保育所	18施設	1,282人	居宅訪問型保育事業	4施設	25人																						
認定こども園	1施設	105人	事業所内保育事業	5施設	92人																						
小規模保育事業	1施設	10人	認証保育所等	13施設	406人																						
令和8年度までの実績と予算取扱いの状況課題	<p>就学前の子どもたちが快適で安心して過ごすことができるようになるとともに、保護者に対してもその専門性を生かした子育て支援をより充実させることで、保育の質の向上と保育所における地域子育て支援を推進していく必要があります。</p> <p>令和7年度は、引き続き多様な補助メニューを実施するとともに、基準数以上の職員配置を行った場合の経費補助を拡充し、保育士の確保と保育の質の向上をめざします。</p> <p>令和8年度は、子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、さらなる保育の質の向上と保育所における地域子育て支援の充実を図ります。</p>																										
所管課 子ども部 子ども支援課		決算参考書 150、152頁	R6予算の概要 79頁																								

## 18 病児・病後児保育室運営【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等																																
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。																																
将来像に向けた方向性																																
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。 (関連する主な分野別計画: 子ども・子育て支援事業計画)																																
事業概要	内容	区は、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、区立保育園等において、病気の回復期にある乳幼児を一時的に預かる病後児保育を実施しています。 病後児保育に加えて、病気の回復期に至らず、集団保育を受けることが困難な乳幼児を保育する病児保育のニーズは高まりを見せてています。 令和6年度は、新たに医療機関に併設する病児保育室を開設・運営し、安心して病児を預けられるようにすることで、保護者の子育てと就労の両立へのさらなる支援を図ります。																														
事業費	予算現額	決算額	執行率																													
	39,507,000円	29,109,835円	73.7%																													
事業実績	<p>○令和6年度実績 (1) 病児・病後児保育室の開設・運営 病気中の子どもを保育する病児・病後児保育室を区として初めて開設し、令和6年4月1日から運営を開始しました。医療機関併設型のメリットを活かし、医師との連携の下で、安心して子どもを預けられる環境を整えました。</p> <table border="1"> <tr> <td>実施施設</td><td>のびすこキッズケア (一番町4番地16(地番) プルミエール一番町1階)</td></tr> <tr> <td>利用日・利用時間</td><td>月曜日から金曜日までの9時00分から17時30分(祝日・12月28日から1月4日・保育室に併設する医療機関の夏季休業日を除く)</td></tr> <tr> <td>利用定員</td><td>3名</td></tr> </table> <p>(2) 病児・病後児保育の利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施施設</th><th rowspan="2">保育内容</th><th colspan="3">延べ利用者数</th></tr> <tr> <th>令和6年度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>のびすこキッズケア</td><td>病児・病後児</td><td>229人</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>anton nursery school</td><td>病後児</td><td>42人</td><td>89人</td><td>21人</td></tr> <tr> <td>区立保育園・こども園(麹町・神田・ふじみ)</td><td>病後児</td><td>13人</td><td>25人</td><td>3人</td></tr> </tbody> </table>			実施施設	のびすこキッズケア (一番町4番地16(地番) プルミエール一番町1階)	利用日・利用時間	月曜日から金曜日までの9時00分から17時30分(祝日・12月28日から1月4日・保育室に併設する医療機関の夏季休業日を除く)	利用定員	3名	実施施設	保育内容	延べ利用者数			令和6年度	令和5年度	令和4年度	のびすこキッズケア	病児・病後児	229人			anton nursery school	病後児	42人	89人	21人	区立保育園・こども園(麹町・神田・ふじみ)	病後児	13人	25人	3人
実施施設	のびすこキッズケア (一番町4番地16(地番) プルミエール一番町1階)																															
利用日・利用時間	月曜日から金曜日までの9時00分から17時30分(祝日・12月28日から1月4日・保育室に併設する医療機関の夏季休業日を除く)																															
利用定員	3名																															
実施施設	保育内容	延べ利用者数																														
		令和6年度	令和5年度	令和4年度																												
のびすこキッズケア	病児・病後児	229人																														
anton nursery school	病後児	42人	89人	21人																												
区立保育園・こども園(麹町・神田・ふじみ)	病後児	13人	25人	3人																												
令和8年度までの実績予算取組の状況課題	<p>病児・病後児保育室は、子どもの体調などで当日のキャンセルが発生しやすいものの、利用の有無に関わらず受入準備は必要となるため安定的な運営が課題です。 令和7年度は、安定的な運営と利用者の利便性向上のために、常勤職員の給与相当額を区が負担することで、保護者の当日の利用申込に対応できるようにします。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、事業者が安定的に運営を行えるよう支援とともに、利用者の利便性向上に向けた検討を行い、保護者の子育てと就労の両立への支援を図っていきます。</p>																															
所管課 子ども部 子ども支援課		決算参考書	152頁 R6予算の概要 80頁																													

## 19 区内保育施設利用におけるおむつ等支援事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等									
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。									
将来像に向けた方向性									
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。									
事業概要	内容	保育施設に通う子どもを持つ保護者は、ハンカチ、よだれ掛け、交換用の着替えやおむつ等、様々な持ち物の準備が必要です。中でもおむつは、一日あたりの使用数も多く、名前の記入等、保護者の負担となっています。令和6年度は、区内保育施設においておむつや手口拭き等を用意することで、保護者がゆとりをもって子どもと過ごす時間を確保できるようにするとともに、保護者の通園に係る負担を軽減します。							
事業費	予算現額	決算額	執行率						
	91,072,000円	55,794,816円	61.3%						
事業実績	<p>○令和6年度実績 令和5年度に引き続き、区内保育施設全園で紙おむつ・手口拭き・おしり拭き・使い捨て紙エプロンを用意するとともに、使用後のおむつ等を入れるためのビニール袋を新たに用意しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>実施期間</td><td>令和6年4月～令和7年3月</td></tr> <tr> <td>導入園数</td><td>44園</td></tr> <tr> <td>対象園児数※</td><td>1,101名</td></tr> </table> <p>※区内の認可保育所、認定こども園、小規模保育事業、事業所内保育事業、幼保一体施設内保育園、認証保育所、区補助対象保育室、区緊急保育施設に通う0歳児～2歳児クラスの園児の実施時期における1日あたり平均人数です。</p>			実施期間	令和6年4月～令和7年3月	導入園数	44園	対象園児数※	1,101名
実施期間	令和6年4月～令和7年3月								
導入園数	44園								
対象園児数※	1,101名								
令和8年度までの予算取組の状況課題	<p>保護者が通園の際に準備しなければならないものが減ることで、保護者の通園に係る負担を軽減することができました。また、保育士がおむつ等を園児ごとに管理する必要がなくなり、保育士の負担軽減にも寄与しています。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、必要な見直しを行いながら事業を実施し、保護者の負担軽減を図っていきます。</p>								
所管課 子ども部 子ども支援課	決算参考書	154頁	R6予算の概要 80頁						

## 20 ファミリー・サポート・センター【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。

### 将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：子ども・子育て支援事業計画)

事業概要	内容	ファミリー・サポート・センターは「育児の支援を受けたい方（依頼会員）」と「育児の支援を行ってくれる方（支援会員）」の会員組織です。会員間の支援活動を実施することにより、子育て世帯の仕事や社会参加と家庭の両立を図るとともに、保護者の育児不安や負担感を軽減し、子どもが健やかに成長できる子育て環境をつくっています。 令和6年度は、支援会員が不足している現状を踏まえ、需要の高い送迎に特化した準支援会員制度について、区内大学生等に普及啓発等を行うことで、支援会員の拡大を図り子育ての需要に応えていきます。

事業費	予算現額	決算額	執行率
	12,163,000円	11,628,400円	95.6%

事業実績	○令和6年度実績 令和5年10月から新設した準支援会員について、区内の大学・専門学校への交渉や大学での説明会などの普及啓発活動を実施しました。		
	説明会の開催を交渉した大学・専門学校数	説明会等を実施した大学数	
	令和6年度	2校	3校
	令和5年度	10校	3校

事業実績	また、支援会員数の拡大と資質の向上を目的に、支援会員に支払われる活動料金のうち事務経費 <sup>※</sup> 分について、子ども1人あたり150円から300円に改定しました。 ※事務経費：依頼会員から支援会員へ支払われる基本料金とは別に、ファミリー・サポート・センターから支援会員へ支払われる経費								
		依頼会員数	支援会員数	準支援会員数	支援を受けた依頼会員数（実人數）	活動をした支援会員数（実人數）	依頼件数	依頼成立件数	活動件数
	令和6年度	762人	218人	12人	119人	68人	134件	76件	4,741件
	令和5年度	799人	261人	8人	125人	65人	127件	63件	5,116件

令和8年度までの実績と課題の対応状況評価	令和6年度の準支援会員数は増加したものの、支援会員不足については継続して課題となっているため、新規の支援会員数を増やすための取組みを継続しながら、登録しているものの活動実績が少ない会員の活動促進やマッチング率（依頼成立数／依頼件数）を向上させることが重要です。								
	令和7年度は、これまでの普及啓発活動（大学等での説明会の実施、広報紙への特集ページの掲載など）を継続することに加えて、養育家庭の普及啓発活動との連携を強化していきます。また、現状の手続き面等の課題を分析し改善を図りながら、現在活動を行っていない支援会員の活動再開を促していきます。								
	令和8年度は、引き続き支援会員の増加を図るとともに、丁寧なマッチングを行うことで、地域で子育て家庭を支えていきます。								

## 21 ベビーシッター利用支援事業【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。

### 将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：子ども・子育て支援事業計画)

事業概要	内容	日常生活上の突発的な事情や社会参加等により一時的にベビーシッターによる保育を必要とする保護者が、指定の事業者が派遣するベビーシッターを利用した場合、東京都の補助制度にのっとり、利用料の一部を助成しています。令和6年度は、障害児及びその家族を支援するため、区独自の取組みとして、対象児童又は18歳未満の兄弟姉妹が障害者手帳を有する家庭においては、補助対象を小学校就学前の児童から小学校3年生の児童までに拡大するとともに、補助上限時間数を一人あたり144時間から216時間まで引き上げることで、多様な子育てニーズに応えていきます。					

事業費	予算現額	決算額				執行率
	209,834,000円	106,740,169円				50.9%

事業実績	○令和6年度実績							
	申請世帯数		申請児童数		補助対象時間数		補助金額	
	全体	うち 障害世帯	全体	うち 多胎児	日中利用	夜間利用		
	令和6年度	451世帯	8世帯	586人	44人	39,799 時間	1,103 時間	94,837,465 円
	令和5年度	389世帯	-	508人	32人	32,918 時間	441 時間	75,205,197 円
	令和4年度	290世帯	-	371人	22人	21,793 時間	190 時間	48,006,001 円
※申請数が想定を下回ったことにより、執行率が低くなりました。								

令和8年度までの予算組成の状況課題	東京都の補助制度を基礎としている中、都の制度改正に速やかに対応するとともに、区の実態や利用者の利便性を考慮した制度・運用方法を検討していくことが重要です。令和7年度は、都の制度拡充を踏まえ、新たに、ひとり親家庭や障害児童等に対する支援内容を拡充していきます。令和8年度は、さらなる区民の利便性向上を図り、多様な子育てニーズに応えます。						

所管課 子ども部 児童・家庭支援センター	決算参考書	154頁	R6予算の概要	81頁
----------------------	-------	------	---------	-----

## 22 子育てひろば【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等																													
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。																													
将来像に向けた方向性																													
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。 (関連する主な分野別計画：子ども・子育て支援事業計画)																													
事業概要	内容	区は、乳幼児及びその保護者が遊んだり、交流したりする場として子育てひろば事業を実施し、地域の子育て支援機能を総合的に推進し充実させることで、乳幼児及び家庭の福祉向上を図っています。 令和6年度は、民間ビルに移転した教育研究所があった場所を臨時的に活用し、新たに神田さくら館で事業を実施することで、乳幼児親子がより身近な場所で利用できるようにします。																											
事業費	予算現額 13,071,000円	決算額 9,098,202円																											
事業実績	<p>○令和6年度実績 神田さくら館7階を臨時的に活用し、子育てひろば事業を実施しました。</p> <p>(1) 開設期間 令和6年9月26日～令和7年3月27日</p> <p>(2) 実施日時 毎週火曜日～木曜日の10時～16時</p> <p>(3) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td><td>1回</td><td>15回</td><td>12回</td><td>12回</td><td>12回</td><td>11回</td><td>11回</td><td>74回</td></tr> <tr> <td>利用者数</td><td>53人</td><td>397人</td><td>390人</td><td>404人</td><td>402人</td><td>462人</td><td>511人</td><td>2,619人</td></tr> </tbody> </table>			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実施回数	1回	15回	12回	12回	12回	11回	11回	74回	利用者数	53人	397人	390人	404人	402人	462人	511人	2,619人
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																					
実施回数	1回	15回	12回	12回	12回	11回	11回	74回																					
利用者数	53人	397人	390人	404人	402人	462人	511人	2,619人																					
令和7年度実績を踏まえ、予算取組の状況課題	<p>児童館機能がない神田公園地区において子育てひろば事業を実施した結果、多くの乳幼児親子が利用しました。今後も、区内各地区で子育てひろばを実施し、地域の子育て支援機能を総合的に推進し充実させることで、乳幼児及び家庭の福祉向上を図ることが重要です。</p> <p>令和7年度は、千代田小学校の教室不足対策に係る工事が開始されることから近隣の公共施設を活用して事業を継続するとともに、適切な実施場所の確保について検討していきます。</p> <p>令和8年度は、引き続き適切な実施場所の確保についての検討はもとより、利用者の年齢に応じたきめ細やかな対応を行うなど事業の充実を図ります。</p>																												
<p>所管課 子ども部 児童・家庭支援センター 決算参考書 154頁 R6予算の概要 82頁</p>																													

## 23 児童センター・児童館事業運営（一般運営）【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。

### 将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：子ども・子育て支援事業計画)

事業概要	内容	区は、児童センター・児童館において、18歳未満の幅広い年齢層の地域の児童とその保護者に、健全な遊びの場・交流の場を提供し、子どもを対象とした各種行事や事業及び子育て支援事業を実施することで、児童の健全育成と保護者の子育て支援を図っています。 令和6年度は、区内の児童館及び学童クラブ等を巡回し、業務運営や人材育成に係る助言等を行う「（仮称）児童館等業務支援アドバイザー」を配置することで、児童館や学童クラブ等の運営支援を強化し、児童館等の質の向上を図ります。			

事業費	予算現額	決算額	執行率
	40,567,000円	32,949,343円	81.2%

事業実績	○令和6年度実績 児童館長経験者である児童館等業務支援アドバイザー2名が、区立・民間の児童館・学童クラブを巡回し、各施設の事業運営や安全計画、保護者・児童への対応など、現場の状況に応じた支援を行いました。		
	児童館（公設学童クラブ含む）	施設数 6施設	巡回数 156回

令和7年度予算のための取組状況課題	新たに運営を開始した2施設の学童クラブへのサポートを含め、区内の児童館・学童クラブの安定した事業運営及び質の向上を図ることが必要です。 令和7年度は、私立学童クラブの巡回数を増やすことで、児童の健全育成と保護者の子育て支援のさらなる充実に取り組みます。また、巡回支援について各施設側の意見も踏まえながら、児童館・学童クラブへの必要な支援内容の整理を行います。 令和8年度は、令和7年度の整理を踏まえて、児童館・学童クラブの安定した事業運営及び質の向上に取り組みます。		

所管課 子ども部 児童・家庭支援センター	決算参考書	154頁	R6予算の概要	82頁
----------------------	-------	------	---------	-----

## 24 私立学童クラブ整備補助【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等												
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができます。												
将来像に向けた方向性												
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。 (関連する主な分野別計画：子ども・子育て支援事業計画)												
事業概要	内容	区は、保護者の就労形態に対応し、区立小学校の周辺に夜間まで子どもを預かる私立学童クラブを整備しています。 令和6年度は、新たに私立学童クラブを誘致し、その整備に係る経費を助成することで、学童クラブの待機児童ゼロを堅持するとともに、学童クラブを必要とする全ての保護者の就労支援を図ります。										
事業費	予算現額	決算額	執行率									
	71,258,000円	64,477,000円	90.5%									
事業実績	<p>○令和6年度実績 プロポーザル方式にて、学童クラブの整備及び運営事業者を決定し、令和7年4月開設に向けた整備に要する経費を補助しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備施設名</th><th>定員</th><th>所在地</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富士見わんぱくひろば学童クラブ分室</td><td>40人</td><td>富士見1丁目1番6号 旧九段中学校敷地内建物</td></tr> <tr> <td>スターチャイルド学童クラブ和泉橋</td><td>40人</td><td>東神田2丁目6番5号 東神田ビル1階</td></tr> </tbody> </table>			整備施設名	定員	所在地	富士見わんぱくひろば学童クラブ分室	40人	富士見1丁目1番6号 旧九段中学校敷地内建物	スターチャイルド学童クラブ和泉橋	40人	東神田2丁目6番5号 東神田ビル1階
整備施設名	定員	所在地										
富士見わんぱくひろば学童クラブ分室	40人	富士見1丁目1番6号 旧九段中学校敷地内建物										
スターチャイルド学童クラブ和泉橋	40人	東神田2丁目6番5号 東神田ビル1階										
令和6年度実績を踏まえた予算取組の状況課題	<p>本事業は、従前から特に学童クラブの需要が高く供給量がひっ迫していた、富士見小学校通学区域、和泉小学校通学区域に各1か所の学童クラブを整備したことにより、同区域における学童クラブ入会需要を満たす定員を確保し、待機児童ゼロを堅持することができたため、令和6年度で完了しました。</p> <p>今後は既存の施設及び新設の2施設に対して補助を行うとともに、区全体の学童クラブの安定した事業運営を支援していくことで待機児童ゼロを堅持するとともに、運営事業者と相互協力の下、学童クラブを必要とする全ての保護者の就労支援に取り組みます。</p>											
<p>所管課 子ども部 児童・家庭支援センター 決算参考書 154頁 R6予算の概要 82頁</p>												

## 25 発達障害等の療育経費助成【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができます。

### 将来像に向けた方向性

多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区障害福祉プラン)

事業概要	内容	障害や発達に課題のある児童が、専門の療育機関等で相談や検査、療育指導等を受けた場合に係る経費の一部を助成し、保護者の経済的・精神的な負担を軽減するとともに、子どもの障害や発達課題の早期発見及び早期療育指導を促すことで心身の発達を支援しています。 令和6年度は、補助率を1/2から2/3に引き上げることで、保護者の経済的・精神的な負担のさらなる軽減を図るとともに、早期からの療育支援を推進します。																	
事業費	予算現額	決算額	執行率																
	11,734,000円	11,733,734円	100.0%																
事業実績	<p>○令和6年度実績 令和6年4月療育利用分から、補助率を1/2から2/3に引き上げました。</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>申請件数</th><th>対象児童数※</th><th>助成額</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和6年度</td><td>267件</td><td>198人</td><td>11,733,734円</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>196件</td><td>133人</td><td>7,891,829円</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>169件</td><td>118人</td><td>6,845,414円</td></tr></tbody></table> <p>※対象児童数は、本事業を利用した児童数（実人員）を記載しています。</p>				申請件数	対象児童数※	助成額	令和6年度	267件	198人	11,733,734円	令和5年度	196件	133人	7,891,829円	令和4年度	169件	118人	6,845,414円
	申請件数	対象児童数※	助成額																
令和6年度	267件	198人	11,733,734円																
令和5年度	196件	133人	7,891,829円																
令和4年度	169件	118人	6,845,414円																
令和8年度までの予算へ組込まれた評価の対応状況課題	<p>申請件数、対象児童数ともに前年より増加しており、幅広い年齢、多様な障害に対する支援への高い需要が今後も見込まれる中、発達課題の早期発見及び早期療育指導を促すための支援を継続していくことが重要です。</p> <p>令和7年度は、子どもが障害者手帳又は通所受給者証を所持する場合に、助成上限額を月1万円から2万円に引き上げ、経済的負担をさらに軽減します。また、申請においても保護者が利用しやすくなるように、オンライン申請のページを改良します。</p> <p>令和8年度は、引き続き子どもの障害や発達課題の早期発見及び早期療育指導を促すとともに、保護者の経済的・精神的な負担を軽減することで、継続的な心身の発達を支援します。</p>																		

## 26 障害児等への支援関連事業【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができます。

### 将来像に向けた方向性

多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区障害福祉プラン)

事業概要	内容	区は、児童福祉法に基づく児童発達支援や放課後等デイサービスの給付を行う障害児通所給付事業や、重症心身障害児・医療的ケア児の家族等の負担を軽減する重症心身障害児等在宅レスパイト事業など、障害児等への各種支援を行っています。 これらのサービスの利用者負担は、区独自の取組み等により一部は無料となっていますが、利用年齢や利用時間によっては世帯の所得に応じた利用者負担が生じています。 令和6年度は、これまで世帯の所得に応じ生じていた負担額分を区独自にゼロとすることにより、障害児等の保護者の経済的負担を軽減し、誰もが安心して子育てできるようにします。																										
		予算現額		決算額	執行率																							
事業費	(1) 障害児通所給付事業		275,814,000円	210,246,419円	76.2%																							
	(2) 重症心身障害児等在宅レスパイト事業		9,210,000円	4,044,150円	43.9%																							
事業実績	○令和6年度実績 (1) 障害児通所給付事業																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス種類</th><th>児童発達支援</th><th>居宅訪問型児童発達支援</th><th>放課後等デイサービス</th><th>保育所等訪問支援</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給決定者数</td><td>76人</td><td>7人</td><td>140人</td><td>20人</td><td>243人</td></tr> <tr> <td>支給日数</td><td>1,170日</td><td>69日</td><td>2,271日</td><td>39日</td><td>3,549日</td></tr> <tr> <td>利用日数</td><td>5,668日</td><td>332日</td><td>12,849日</td><td>170日</td><td>19,019日</td></tr> </tbody> </table>					サービス種類	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	合計	支給決定者数	76人	7人	140人	20人	243人	支給日数	1,170日	69日	2,271日	39日	3,549日	利用日数	5,668日	332日	12,849日	170日
サービス種類	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	合計																							
支給決定者数	76人	7人	140人	20人	243人																							
支給日数	1,170日	69日	2,271日	39日	3,549日																							
利用日数	5,668日	332日	12,849日	170日	19,019日																							
※医療型児童発達支援は実績がありませんでした。																												
事業実績	(2) 重症心身障害児等在宅レスパイト事業																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用登録者数</td><td>12人</td><td>12人</td><td>13人</td><td></td></tr> <tr> <td>利用日数</td><td>172日</td><td>274日</td><td>207日</td><td></td></tr> <tr> <td>利用時間数</td><td>539時間</td><td>787.5時間</td><td>634.5時間</td><td></td></tr> </tbody> </table>						令和6年度	令和5年度	令和4年度		利用登録者数	12人	12人	13人		利用日数	172日	274日	207日		利用時間数	539時間	787.5時間	634.5時間				
	令和6年度	令和5年度	令和4年度																									
利用登録者数	12人	12人	13人																									
利用日数	172日	274日	207日																									
利用時間数	539時間	787.5時間	634.5時間																									
※保育園入園など他サービスの利用が広がったことにより、利用時間数が例年より減少したため、執行率が低くなりました。																												
令和7年度実績 を踏まえ 予算取組 の状況 対応課題	障害のある子どもを養育されている家庭への支援の公平性の観点から、所得制限の撤廃は一定の効果がありました。限られた財源を有効に活用するためにも支援対象の拡大においては慎重に検討していく必要があります。 令和7年度は、在宅レスパイト・就労等支援事業補助金（都補助金）における補助上限時間が144時間から288時間に拡充されたことに伴い、区でも利用上限時間を引き上げ、区内において在宅で生活する重症心身障害児又は医療的ケア児の健康の保持及びその介護をする家族等の負担軽減を図ります。 令和8年度は、引き続き利用状況や利用者ニーズを踏まえ、必要な検討を行い、誰もが安心して子育てができるよう推進します。																											

## 27 (仮称) 四番町公共施設整備

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

事業概要	内容	四番町保育園・児童館等施設は、四番町図書館、住宅等も含めた一体的な施設整備を行っています。 新たな施設は安全・安心をベースとし、子育て機能の拡充と住みよい住環境の実現をコンセプトに、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮とともに、自然エネルギー・再生可能エネルギー利用の促進など、居住者・利用者と環境に配慮した施設をめざしています。 令和8年度の竣工に向けて、令和6年度も引き続き、既存施設の地下解体・新築工事を進めていきます。 ※工事費及び工事監理委託料の金額は、地域振興部、環境まちづくり部、政策経営部分を含む合計金額です。	

事業費	予算現額	決算額	執行率
	(1) 工事費 1,346,000,000円	1,346,000,000円	100.0%
(2) 工事監理委託料 62,802,000円		62,800,000円	100.0%
(3) 事務費 6,707,000円		771,251円	11.5%

事業実績	○令和6年度実績 令和5年度に引き続き、地下解体工事を実施したほか、新築工事を進めています。 ※事務費については、設計修正業務が発生しなかったため、執行率が低くなりました。 ■整備スケジュール			
	<table border="1"> <tr> <td>令和7年度～8年度</td> <td>新築工事</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>竣工（予定）</td> </tr> </table>	令和7年度～8年度	新築工事	令和8年度
令和7年度～8年度	新築工事			
令和8年度	竣工（予定）			

令和7年度度予算実績の状況課題 令和8年度度予算の組合せの踏まえ	整備にあたっては、児童・園児・周辺地域等に十分配慮しながら工事を進めていくことが必要です。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、令和8年度の竣工をめざして新築工事を実施するとともに、施設開設に向けた準備を進めます。

所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書 158、202、210、 218、236頁	R6予算の概要	88頁
-----------------	--------------------------------	---------	-----